

ボランティアに感謝!!



「デイケアセンターとみた」で定期的に演奏いただいている

ボランティアグループ「ひだまりの会さん（写真：左）」と「京都尺八慰問団さん（写真：右）」です。

「超高齢社会に向けて」

京都博愛会病院 院長 金 盛彦

本年4月、京都を中心に医学会総会が開催されました。記念講演では103歳の日野原重明先生が「日本における高齢化と真の健康社会」と題してお話をされ、老いを感じさせない前向きな生き方に大変感銘を受けました。

日本の高齢化は世界の先頭を切つて猛スピードで進んでおり、2007年には高齢化率（65歳以上の人口割合）が21%を超え、超高齢社会に突入しました。平均寿命も急速に延び、今や人生80年から90年の時代に近づきつつあり、特に百歳を超えた百寿者については、社会的にも関心が高まり、テレビや新聞などでも取り上げられています。厚生省の調査が始まった1963年、百寿者は全国でわずか153人でしたが、近年では爆発的に増加し、2014年には5万8820人となっています。この50年余りで400倍近く増えたことになります。

元氣な高齢者も多くなりましたが、一般には高齢になれば病氣や障害があり、療養・介護を必要とする方も増え、医療の需要もさらに増加することが見込まれます。厚生省は、超高齢社会への対応策の二環として、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、各地域の実情に合った地域包括ケアシステム（医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制）の構築を目指しています。実現には多くの課題や困難がありますが、特に医療機関にとっては病床の機能分化・機能連携を求められ、選択と決断が迫られています。

このような大きな流れのなかで当院も地域に密着し、安心と安全を提供することを基本に、当院の役割と方向性を見極め、地域の皆様に求められる医療体制を構築できるよう職員一同とともに努力したいと考えております。皆様のご理解とご支援、ご協力をお願いする次第です。

【博愛】博愛の精神に基づいて、患者さまや地域の人々にやさしく、親しまれ、信頼される病院を目指します。

【協調】患者さまを中心に協調の精神でチーム医療を行います。

【健康】私たち自身の心と身体の健康に留意し、良い医療・介護・福祉を提供します。

基本理念

もの忘れ外来

富田病院 神経内科 加藤 智信



富田病院で物忘れ外来をはじめて2年になります。いろいろな原因の物忘れを経験しましたが、もっとも多いのは「アルツハイマー病」です。アルツハイマー病の脳では神経原線維変化や老人班とよばれる異常蛋白が現れ脳が萎縮しますが、これらの病理と認知機能のおとろえは比例関係にあると一般に考えられていました。ところが脳病理と認知障害はかならずしも平行しないことがわかってきました。

Snowdon D.A.は献身的なカトリック尼僧の協力をえて、定期的に認知機能テストと、死後の脳解剖をおこない、脳病理と認知機能の関連をしらべました。その結果、脳の老化と認知機能はおおむね平行するものの例外があり、脳の病理変化が非常に強いにもかかわらず認知機能が保たれる例が少なからず存在することを明らかにしました。さらに、認知症にならなかった人は「認知機能予備能」が保たれており、予備能として「よい脳循環、栄養・ビタミンの保持、心肺肝腎の安定し

た機能、うつや不安がなくバランスのとれた精神生活、脳を活性化する日常生活、知的活動、脳機能を害する薬物を服用していない」を挙げました。

脳には障害がおこっても失われた機能を代償する働きがそなわっています。たとえばパーキンソン病では黒質細胞が正常の2割にへるまでは無症状です。残っている正常細胞が代償的に働くからです。アルツハイマー病でも予備能が保たれていれば、同様の代償力が働くことが考えられます。

私は1980年代にアルツハイマー病脳のアセチルコリン減少を研究していました。この減少を補うコリンエステラーゼ阻害薬が現在の標準治療ですが、同時に予備能を改善する治療

が重要だと考えています。まだ認知症を発症していない人の予防治療として予備能対策は有効なはずで、実際強い海馬萎縮があっても正常に自立生活をしている人がいます。このように物忘れ外来では、ごく初期の物忘れの方から進行した方までを対象としています。

富田病院 受付／午前8:30-11:30 診療／午前9:00-12:00

もの忘れ外来	月	火	水	木	金	土
(神経内科)	—	—	加藤	—	—	—

京都博愛会病院 受付／午前8:30-11:30 診療／午前9:00-12:00

もの忘れ外来	月	火	水	木	金	土
(神経内科)	—	—	—	—	大井	—
(精神科)	佐々木	—	—	—	—	—

『禁煙外来(富田病院)へのお誘い』



「禁煙したいけど、何度も失敗している」、「やめたいけどやめられない」とお悩みの

方、禁煙外来に来てみませんか？禁煙外来は「タバコをやめたい、やめよう」と思っておられる全ての方のためにあります。あなたに合った禁煙法を一緒に考え、内服薬やニコチンパッチなどを使えば思ったよりも楽にタバコにサヨナラできますよ。禁煙すると良いことが一杯。何よりもあなた自身の気持ちがい

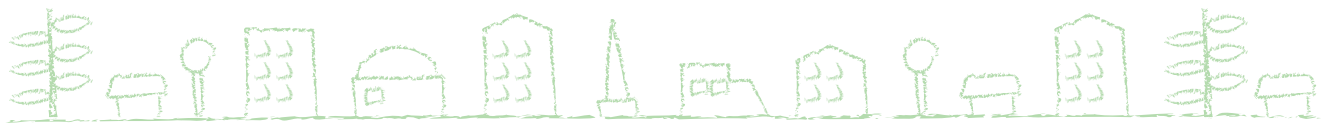
いし、周りの人も喜びます。おまけに病気のリスクが下がり、お金も貯まります。条件が当てはまれば健康保険が使えますので、費用もタバコ代より安くてすみます。医師、看護師などのサポート

京都博愛会病院 内科顧問

栗岡 成人

富田病院「禁煙外来」

- ◆診察日時／木曜日 14時～16時 (予約制)
- ◆所用時間／初診：約60分
再診：20～30分 (2回目以降は個人差があります)
- ◆概算費用／保険診療で約1万4000円～2万1000円
(12週間、計5回のプログラムと禁煙補助剤で自己負担3割の場合)
- ◆お問い合わせ／
TEL075-491-3241 富田病院 禁煙外来看護師まで



わが町のホームドクター



『主治医、病院そして私』

左京区 三浦 信

私は近年まで下鴨の北部に住んでいましたので、博愛会病院の付近の深泥池や円通寺は散歩の道でもありました。しかし、医療の面でお世話になったのは、友人が博愛会病院で診療を始めてからで、今から十三、四年前のことです。

彼は旧制中学の同期生で長い付き合いです。彼は京都市立病院の院長など多彩な活動の後、博愛会病院で外来患者の診療も始めましたので、私も当時通つて

いた病院からこちらに鞍替えを致しました。こうして、彼は当時私が患っていた慢性脾炎の主治医でもあったとともに、実際には、病気や健康のことなら何時でも何でも相談でき、適切な判断と対処を示唆してくれる、広い意味の主治医として頂いています。

七十歳代後半で、博愛、協調、健康を理念とする、京都博愛会のお世話になったのは大きな幸せでした。次第に健康も衰えてくる年代でもあり、その後、故障続出で、視力が落ちて白内障の手術を、左膝を痛めて人工関節の手術を、さらに、九十歳の今年は冠状動脈の硬化のためステント留置手術をして頂き、いずれも成功しました。これも博愛会、富田両病院の皆様方のご努力の賜物であり、主治医の有益なアドヴァイスのお陰と感謝しております。



看護物語

『“身体のこと学びたい!”と一念発起』

富田病院 2階病棟 山田 知子

私は、富田病院で働く新米看護師です。新米と呼ぶには面映^{おもは}ゆい^は感じの年齢ですが、優しい先生方や先輩方に教えて頂きながら日々頑張っています。

看護師になる前は、京都博愛会病院の精神科に入院されている患者さんの作業療法をしていました。そこで患者さんとふれあうにつれ、自分が思う以上に“こころと身体はつながっている”ことを実感し、身体のことを学びたいという気持ちが強まり、看護学校に行きたいと思うようになりました。それは看護師の働きぶりを見て、患者さんの生活をトータルに支援できるのは看護だと思ったからです。

看護学校在学中は、職場や家族の支援に恵まれ、「デイケアとみた」でアルバイト職員としてお世話になりました。優しい利用者さんに実習のつらさを聞い

てもらったりして癒されました。

実際に行う看護の仕事は、患者さんの身体に直接影響が出るその責任の重さに身の引きしめる思いです。しかし、患者さんに近づけたように思いうれしく、先輩方も優しいので、楽しく仕事させて頂いています。

ゆくゆくは患者さんが“少しでもその人らしい生活を送られるためのお手伝いができたらいいな”と夢見て、早く一人前の看護師になれるよう頑張っています。



京都博愛会病院 新任ドクター紹介

内科顧問

く り お か な り と
栗岡 成人

●診療科・役職：内科顧問 ●昭和26年生まれ ●出身地：京都府
●職歴：大阪市立大学医学部第三内科研修医、東住吉森本病院、城北病院（北山武田病院）、木津屋橋武田病院を経て、平成27年4月より京都博愛会病院勤務 ●専門医認定・資格等：日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本超音波医学会専門医・指導医、日本医師会認定産業医、日本禁煙学会認定専門医師 ●趣味：スポーツ、料理、タバコフリー活動 ●今後の抱負：それぞれの患者さんに応じた診療を心がけています。常に患者さんと共にあり、共に歩みたいと願っています。

神経内科

は や し さ き
林 紗葵

●診療科：神経内科
●職歴：京都市立病院初期研修医、京都市立病院神経内科、平成27年4月より京都博愛会病院勤務 ●専門医認定・資格等：内科認定医 ●趣味：バレーボール ●今後の抱負：神経内科疾患の患者さんは多岐にわたる疾患を合併しているので、幅広い診療が出来たらと思います。また、患者さんの身になって分かり易い丁寧な説明と、的確で安心いただける医療を行いたいです。

精神科

い し か わ こ う す け
石川 浩介

●診療科：精神科 ●昭和56年生まれ ●出身地：京都府
●職歴：公立甲賀病院、大阪府立精神医療センター、平成27年4月より京都博愛会病院勤務 ●専門医認定・資格等：精神保健指定医 ●趣味：旅行 ●今後の抱負：患者さんの不安に寄り添い、一人ひとりに適した医療を提供できるよう心がけ、努力していきますので、どうぞよろしく願いいたします。

精神科

し も さ と と も ひ ろ
下里 友浩

●診療科：精神科 ●昭和57年生まれ ●出身地：愛知県
●職歴：京都大学医学部附属病院で初期研修修了後、杉田玄白記念公立小浜病院に精神科医員として2年間勤務。平成27年度より京都博愛会病院に勤務 ●趣味：読書 ●今後の抱負：学生時代、中井久夫先生の著作に感銘を受けて精神科を志しました。患者さん、そしてご家族の不安を取り除き、その人がその人らしく生きられるようお手伝いができる医師になりたいと思っています。どうぞよろしく願いします。

精神科

し ば た ま み
柴田 真美

●診療科：精神科
●職歴：平成24年より広島大学病院にて初期研修、平成26年京都大学医学部附属病院精神科神経科および緩和医療科で研修を行い、平成27年4月より京都博愛会病院勤務 ●趣味：音楽鑑賞 ●今後の抱負：患者さんに最適な医療を提供できるよう努めます。よろしく願いいたします。

京都博愛会病院

TEL:075-781-1131 〒603-8041 京都市北区上賀茂ケシ山1
<http://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/hakuai/>

富田病院

TEL:075-491-3241 〒603-8132 京都市北区小山下内河原町56
<http://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/tomita/>

**訪問看護
ステーション はくあい**

TEL:075-491-2711 〒603-8041 京都市北区上賀茂ケシ山1
http://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/hakuai_nursing/

デイケアセンターとみた

TEL:075-491-0700 〒603-8132 京都市北区小山下内河原町69
http://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/tomita_care/